

MILITARY MINIATURES

1/35 SCALE U.S. INFANTRY《WEST EUROPEAN THEATER》



4 950344 987740

《アメリカ歩兵の戦闘服》第2次大戦中、アメリカ歩兵は1941年式と1943年式の2種の戦闘服を着用しました。この戦闘服の下は、オリーブドラブ色（イギリスの軍服の色に近い）のシャツで、ズボンも同色でした。1941年式の戦闘服は、44年前半まではタン色で、その後、ダークグリーンに変えられていきましたが、1944年の末頃まで、この戦闘服が多く見られました。すなわちイタリア戦線ではタン色の1941年式戦闘服が主で、ノルマンディー上陸作戦の頃にはダークグリーン色が多くなっていました。1943年式戦闘服は1944年の末頃から多く見られるようになりました。色はダークグリーンで、アルデンヌの戦闘では、防寒用につめ物をした1943年式の戦闘服が多く見られます。

《アメリカ陸軍歩兵部隊の編制》1943年当時、1個歩兵師団は約14000名装輪車2000輛あまりで編成され、その基幹は3個の歩兵連隊でした。1個連隊は3個大隊で編成され、1個大隊は3個小銃中隊と1個重火器中隊を持ち、1個小銃中隊には3個小銃小隊と1個重火器小隊がそれぞれ配置され、1個小銃小隊には3個小銃分隊と1個重火器分隊がおかれて、最小の単位を構成していました。1個分隊は9名編成、分隊長、副分隊長、5名の小銃手がM1ライフルを装備、さらに自動小銃手(BAR装備)と弾薬手で編成されていました。兵士の階級は図のように両腕に示され、実戦ではあまり見られませんが肩近くには部隊マークがつけられました。分隊長は2等または3等軍曹、

副分隊長は伍長、その他の兵は兵長、1等兵、2等兵で、1、2等兵は階級章がありません。個人装備の手榴弾はグリップのかかる所なら、どこにでもつけられました。戦闘時は背のうなどつけない軽装備が多かったようです。カービン銃、コルト拳銃は小隊長(中尉または小尉)以上や機関銃手、迫撃砲手などの護身用に支給されました。1943年にはアメリカ軍は90個師団を保有、イタリア戦区に7個、ヨーロッパ戦区に61個、太平洋戦区に21個を派遣。箱にはノルマンディー上陸作戦に参加した15師団のうち先鋒となった5個の歩兵師団のマークを示しました。

田宮模型
静岡市恩田原3-7 丁422-8610